



通信

HP 学校だより
R7.11.11
NO.26
文責 伊藤美佳



学芸会でも輝く

8日（土）は学芸会でした。保護者や地域の方々に子どもたちの輝く姿を見てもらえる機会となりました。出演前には少し緊張気味の子どもたちも、いざ劇がスタートすると役になりきり、大きな声で歌い踊る、そんな心温まる姿を見せてくれました。ご来賓の方々から「とてもよかったよ」という感想をたくさんいただき、今年度転勤された先生方からは「〇〇さん成長したね」といったうれしい言葉をかけていただきました。

校内学芸会で見させてもらった劇と学芸会で見せてもらった劇は違っていました。3日の間に、各学年よりよくするために考え、工夫されていることが明確に分かりました。特に、子どもたち自身で考えたであろう台本にのっていない台詞や動きが、どの学年にも加わっていて、大きな成長を感じました。たかが3日、されど3日。子どもたちの成長は、意欲があれば無限大です。そんな姿を見せてもらえた気がします。そして、たくさんの感動と元気をもらえました。きっと、ご参観いただいた保護者の皆さんも同じ感想をもってくださっていると信じています。

6年生は、劇が終わった後に体育館の片づけをしてくれました。劇中の舞台装置の転換もやってくれていました。自分たちの劇だけでなく、学校全体のことを考えて、準備から当日の舞台転換、片付けを快くやってくれた6年生に感謝の気持ちを伝えたいです。

学芸会後にある教室をのぞくと「学芸会大大大成功」の文字が黒板に踊っていました。そして、その後には「次は、マラソン大会 自分の目標に向かって 考えてがんばろう」と続いています。きっと、子どもたちの意欲が次の目標に向かって高まっていくことなのでしょう。またその中に、子どもたちが「自分で考える」ことを大切にしたい言葉が入っていることが、とてもうれしかったです。

学芸会でも伝えたい

学芸会の日、体育館の保護者入口についたてが置いてありました。これは、4年3組の子どもたちが、今まで考えて制作した「SDG sのマスコット」の写真と説明の展示です。学芸会で来場した保護者や地域の皆さんに「ぜひ見てもらいたい」という思いで、前日に準備しました。

この展示に至るまでに、子どもたちから「全校に知ってもらいたい」「説明して分かってもらいたい」などの相談は受けていたので、「全校」を対象としていたことは知っていました。しかし、学芸会前日になり、「保護者、地域の人にも見てもらいたい」という思いをもった子どもたちが、自分たちで話し合いの場をもち、準備のための時間を設け、「やりたい」という意欲を原動力に取り組んで準備したことに大きな価値を感じます。

子どもたちにとって「やりたい」という強い思い（意欲）はどんなものにも勝る原動力となることを教えてくださいました。「SDG s」という言葉の意味と価値を理解し、実行に移してくれることでしょう。

